

# 海の向こうから

みなさん、こんにちは。いかがお過ごしですか？ 2016年も終盤を迎え、今年度もたくさんの隊員が広島県から世界各国へ出発しました。海の向こうの現地隊員の方からもお便りが届いています。今号は、広島県東部地区の活動報告の記事も満載です。さて今年から、青年海外協力隊広島県OB会の会長に、竹内英祐さんが就任しました。早速ですが、竹内さんから、会長就任のごあいさつをいただきました。

## 青年海外協力隊広島県OB会 会長 就任のごあいさつ



新会長：竹内英祐さん 20年度4次隊 ウガンダ 土木

皆様 こんにちは。 本年度より広島県OB会会長をさせて頂いております、竹内英祐です。早いもので、私が会長をさせて頂くようになって、もうすぐ一年になろうとしています。この間、皆様のご理解とご協力、ご指導を頂き、何とか会の運営をやって来れました。

広島県OB会では、数々のイベントを実施していますので、一OBとしての参加ももちろん歓迎ですが、運営側での参加も、是非していただければと思います。また、こんなイベントがしたいなども大歓迎です。みんなでイベントを盛り上げて行きましょう！ 皆様、もっともっと積極的にOB会活動に参加してみてください。よろしくお願ひします。

最後になりましたが、現在途上国で活躍されている、広島県より出発された隊員の皆様お元気ですか？ 健康には十分気をつけて、とにかく元気でご活躍ください。海の向こう日本から応援しています。

そして、帰国後お会いできるのを楽しみにしています。皆様 来年も健康で元気にがんばりましょう！



## 誰もが暮らしやすい、多文化共生のまちづくり

### 第7回フレンドリーピック まつながカーフェ



4月30日(土)～5月1日(日)@福山市西部市民センター

報告者：木村宣子さん 52年度1次隊 シリア 陸上競技



「カーフェ」とは、ラテン語で、「今日一日を有意義に使いましょう。楽しみましょう。」という意味です。まちづくり推進委員会、地域の福祉施設、外国人市民や外国人市民の支援団体と一緒になつ

て、多文化共生社会の実現に向けていくためのきっかけとなることを目的に毎年開催されています。

OB 会にぴったりのイベントです！第7回を迎えた今年は、福山市市制施行 100 周年と松永合併 50 周年の記念イベントとして二日間実施されました。昨年同様、

### 【福山から世界へ！～福山市出身の青年海外協力隊員～

紹介写真パネル展示、世界につながる広場

東北支援展示、物品販売】



を行いました。また、当日は地元大学生ボランティアの協力もあり、小さなお子さんから高齢者まで大勢の家族連れの参加でとても賑わいました。東北支援の特産品販売は試食と細川OBのソフトな説明でなかなかの売れ行きでした。OBの皆さんから提供していただいた、世界の楽器と絵本、ゲームを手に取る子供たちの笑顔や歓声に賑わった二日間でした。

次回は 2017年2月5日、【世界につながる広場十世界の料理】を出展計画です。

広島県東部地区の活動としてOBの皆さん、よろしくお願ひします。

二日間の参加者は（細川/吉池/神原/増田/竹内/落合/山本/北村/上田/祝迫/木村）でした。

## 神石高原ティアガルテンのマルシェ



5月3日(火)～5月4日(水) @神石高原ティアガルテン



報告者：神原和代さん 16年度1次隊 ミクロネシア 理数科教師

「神石高原マルシェ」のイベントに、OB会とJICA中国から、出店のため、約6名で参加しました。場所は、神石高原町にある体験型テーマパーク「神石高原ティアガルテン」で、キャンプ場やログハウスの他、牧場やドッグラン、ガーデンなどがあり、今回のようなイベントも季節ごとに開催されているようです。

OB会は東北震災支援物産展として、東北産のとろろ昆布やひじきなどの海産物や仮設住宅での手芸品（ストラップなど）を販売しました。JICA中国ブースでは、「クイズに答えて国旗缶バッヂを作ろう」や民族衣装体験コーナーなどを設け、PR活動を行いました。初日は、今にも雨が降りそうな生憎の曇り空、気温は低く、お客様もまばらでしたが、翌日は良く晴れ、家族連れや観光客がたくさん訪れました。ステージからギニア音楽やカントリーミュージックの生演奏が流れる中、気仙沼産のふかひれスープを試食してもらったり、子供たちにクイズや国旗缶バッヂ作りを楽しんでもらったりすることができました。2日目には、他県から参加したキルギスOB隊員が中心となり、キルギスの移動式住居「ボズウェイ」を建てました。観光客がいる中、OBの他、イベントスタッフも含め8名ほどで建てはじめ、中国のバオのような、厚手の布でできたテントが完成しました。完成後は、異国情緒あふれるカラフルな刺繡やその造りを眺めたり、住居内に入ってぬくもりを感じたりして、観光客と一緒に楽しみました。



「クイズに答えて  
国旗缶バッヂを作  
ろう」「民族衣装体  
験コーナー」  
JICA中国ブース



キルギス隊OBを  
中心に、広場の真  
ん中にボズウェイを  
建てました！



# 「国際交流・協力の日」in 広島



イベント参加報告 2016年11月20日(日)  
報告者:花岡匡子さん 24年度1次隊 エクアドル 理学療法士

国際交流・協力活動を続いている市民団体・企業などが参加する「国際交流・協力の日」のイベントに、今年も青年海外協力隊広島県OB会の一員として参加しました。

国際会議場地下2階に開設された地球ひろばでは、JICA中国主催の「途上国のあるび」「民族衣装」「サルサのシェイカー制作」「カンガでしおり作り」などのコーナーのお手伝いをしました。

この会場は幅広い年齢層でぎわっておりましたが、  
民族衣装を試着した子供の笑顔やゲームを家族で



楽しんでいる姿が印象的でした。



屋台のコーナーでは、中南米料理「チリコンカルネ」と「タマリンドのジュース」の販売を行いました。

## 「チリコンカルネ」は美味しい！

と、とても評判が良かったですが、  
「タマリンドジュース」は好き嫌い分かれ、  
飲んだ後のなんとも言えないお客様の顔  
が忘れられません…。

また、体験談「ホントはね、井戸ほりだけじゃないのよ、青年海外協力隊」では3名のOBがパネラーとして発表し、現地での恋愛や乾季に水が使えなかったこと、大家が捕まり家に住めなくなったことなど協力隊ならではの生活について話し、終始和やかで笑いの多い会となりました。



「今年も約30名と多くのOBが参加しました。  
参加された皆様、朝早くからお疲れ様でした。」

## 現地隊員リポート 活動紹介



報告者:向井緑さん 27年度1次隊 キルギス 青少年活動

1991年に旧ソ連から独立したキルギス共和国。「自分たちと日本人はかつて兄弟だった」と熱く語る人も多く、顔つきもそっくりで親日的な国です。こちらでは、ヒロシマ・ナガサキは広く知られており、8月6日には平和記念式典の様子がテレビニュースで流れます。

日本との深い繋がりを感じるこの国へ2015年7月に派遣されました。首都ビシュケクから約100キロ離れたケミン第2中等学校で、英語の指導、日本語および日本文化の紹介、



日本の学校との交流を行っています。広島県立呉三津田高等学校英語科教諭として現職参加しており、活動任期は2017年3月までです。



キルギスでは、教育予算の逼迫により、校舎の老朽化に加え、学校数や教員数の不足が著しいと言われています。私が活動している小さな公立学校にも十分な設備はありません。教室には裸電球が2つぶら下がっているだけです。曇りの日は薄暗く、黒板の字もはっきり見えません。

教科書は貸与制で一冊を2人で使います。無論パソコンやコピー機はなくチョークすらありません。必要な文具は教員が自費で購入します。下水道の未整備で校舎内にトイレではなく、校庭の隅に穴を掘って使用します。生徒用はドアも仕切りもありません。冬は-20°Cまで下がりますが、暖房は古く故障しがちです。寒がりの私はダウンジャケットに手袋をはめて授業をしています。

決して恵まれた学習環境ではありませんが、子どもたちは素朴でたくましく、逆境を楽しむ力を持っているのかのようです。冬の朝、教室の暖房が故障すると、生徒たちは外で勉強しようと言います。「えー、嘘じやろ?」半べそでついて行き、氷点下の校庭に出て陽だまりで授業をします。しばらくすると「おー、ぬくい!」なんとなんと、これが意外と暖かいのです。雪の残る校庭で太陽の温もりを背中に感じながらの45分間。まさに逆転の発想!生きる力を身につける豊かな学びを垣間見た気がしました。

任期終了まであとわずか。キルギスの子どもたちから大切なことを教わりながら毎日を過ごしています。

<2016年8月12日~20日 向井緑隊員を訪ねて キルギス共和国へ。>

報告者:祝迫直子さん 20年度1次隊 インドネシア 青少年活動

キルギス共和国、大いなる自然に恵まれ、親しみやすく友好的な人々がたくさんいる国。



JICA キルギスの皆様と会食

向井隊員にお世話になり、JICA キルギス事務所の皆様や、任地ケミンのホームステイ先のご家族の皆様をはじめとする多くのキルギス人の皆様、そして現在活躍中の多くの現役青年海外協力隊員の皆様とお会いすることができ、かけがえのないご縁を結ぶことができました。青年海外協力隊の醍醐味は、人のつながり、ご縁を大切にすることであると、あらためて実感できました。感謝感激です!



ホームステイ先のご家族

# 出前講座「子どものための自分のためのプレゼン術」

講座参加報告 2016年9月10日(土) 13:00~16:00

アステールプラザ 4階大会議室A 参加人数 20名

報告者: 西村光マリアさん 24年度1次隊 モロッコ 助産師

出前講座の手法のエッセンスを経験豊かなOBに伝授していただきました。

皆さんも、是非参考にして、出前講座にチャレンジしてみませんか。



## (1)国際協力 概要説明&講座に含めてほしい内容のミニ講座

### (13-3 ウズベキスタン 観光業 新川美佐絵)

開発途上国の定義…1日200円以下で暮らす人々

→150カ国以上/196カ国中

国際協力の理由①人道的な理由 ②恩返しの意味 ③相互依存

途上国のニーズと人材を結ぶのがJICAの役目

→データの共有もあり。世界の実状と日本の立ち位置を説明



## (2)デモ出前講座 (デモ講義20分とその振り返り意見交換)

### (24-1 モロッコ 助産師 西村光マリア)

学校側のニーズに合わせた方が良い。数字が眠くなる。

何が大変だった、泥臭い話、体験談の方が良い。

→対象のオーダーが何かを中心に置くのが1番大切



### 《広島県立教育センター 大道伸幸先生からのアドバイス》

- 「課題解決型」の教育法→事例を出して生徒に考えさせる。
- 対象者に起こり得ることで例える。
- 皆さんで考えましょう!という提起。
- 相手がどこまで知っているかを事前に知っておくと良い。



## (3)効果的なプレゼンテーションとは? (11-1 コスタリカ 日本語教師 橋本優香)

- インターネットで調べたものはいらない。
- 私の経験(知って・見て・感じて)が欲しい。
- インパクトを与える。(民族衣装や現地語など)
- 先生にも協力してもらう。・質問してみる。
- 周りに絵を貼る。・現地の音楽を流す。
- 文字は最小限にする &写真を大きく。
- キャッチコピーを入れる。・成功談より失敗談。
- 専門用語は使わない。・立ち位置を変える。



## (4)ワークショップ「世界がもし100人の村だったら」

### (19-3 ベリーズ 体育 濱長真紀)

今回は参加者が20名だったため、20人の設定でやりました。自分たちが世界に20名のうちの1人として世界のどこかにいる立場を経験すると、より今の世界の問題点や環境を感じることが出来ました。今後私たちOB・OGがワークショップを進行していくときのポイントや秘訣なども教えていただきました。



# 広島県OB会 2016度のイベント実施状況、および予定

2016年4月2日(土)花見

2016年4月30日(土)～5月1日(日) 松永カープチャー

2016年5月3日(火)11:00-14:30 フラワーフェスティバル2016 花の総合パレード↓



2016年5月3日(火)～4日(水) 神石高原マルシェ

2016年5月17日(火)16:00～18:00 協力隊ナビ(ミリアンコール)

2016年6月18日(土)19:00～25年度隊お帰りなさい会↓



2016年6月21日(火)16:00～18:00 協力隊ナビ(ミリアンコール)

2016年6月24日(金)19:00～平成28年度1次隊 壮行会↓



2016年7月2日(土)12:30～

スリランカ人のカープコーチ

ヘワゲさんの応援→



2016年7月10日(日)16:00～20:00 ざっくばらん会vol.3 みんなでBBQ↓



2016年7月19日(火)16:00～18:00 協力隊ナビ(ミリアンコール)

2016年 8月 27~28日 中国四国ブロック交流会(岡山) ↓



2016年 8月 29日(月)13:00~クロスロード上映会  
(広島クリスタルプラザ 6F) →



2016年 9月 3日(土)

スリランカ人のカープコーチヘワゲさんの応援

2016年 9月 10日(土)13:00~プレゼンテーションセミナー(アステールプラザ) ↓



2016年 9月 16日(金)19:00~  
28-2 壮行会→



2016年 9月 17日(土)カープイベント(マツダスタジアム)・協力隊ナビ(マツダスタジアム) ↓



2016年 9月 18日(日)15:00~ シリア映画上映会&トークイベント

2016年 10月 18日(火)16:00-18:00

協力隊ナビ(ミリアンコール)→



2016年 11月 5日(土)13:00~6日(日)

中国ブロック会議(安芸太田町)

2016年 11月 20日(日)10時~16時 国際交流・協力の日-屋台・トークイベント・協力隊ナビ(国際会議場)

2016年 12月 10日(土)13:00~ 会報発送作業

2016年 12月 16日(金)19:00~ 28-3 壮行会

2017年 2月 5日(日) 世界につながる広場+世界の料理(福山市西部市民センター)

2017年 2月 12日(日)13:00-18:00 家族連絡会・総会

2017年 3月 21日(火)16:00-18:00 協力隊ナビ(ミリアンコール)

## 2月に計画されているイベント

OB の皆様へ 2 月に計画されているイベントのお知らせです。たくさんのOBの方々に集まつていただき、盛り上げていきたいと思います。

### 1. 世界につながる広場+世界の料理

2016年2月5日(日) 10:00~15:30

福山市西部市民センター (JR 松永駅すぐ)

当日の集合時間 **9:00**

参加可能な方は、

09041423942

木村までご連絡ください。

### 2. JICA ボランティア家族連絡会&OB 会総会のご案内

2016年2月12日(日) 13:00~18:00 広島市留学生会館

派遣中隊員のご家族をお招きし連絡会を開催します。OB の皆様には、ご家族の不安解消のため相談役としての参加をお願いします。可能な方は、会場準備のため、11:00 には会場入りをお願いします。

受付は 12:30 からです。総会は家族連絡会終了次第 15:30 頃からを予定しています。出欠は同封の返信用はがきにて、ご連絡ください。

## 広島 JICA デスクからのご案内

国際協力に関心を持つ皆様、あるいは、誰かのために何かしたいと考える皆様が、それぞれの立場でそれぞれの関わり方が出来るよう、情報を発信し、一緒に考えていくたいと思っています。

広島県 JICA デスク 推進員 上田 082-541-3777 (1月末まで)

広島市 JICA デスク 推進員 橋本 082-242-8879



JICA 広島デスク  
フェイスブック  
QR コード



### ○青年海外協力隊広島県OB会へのご入会

まだ登録されてない方は、E-mail にて、ご連絡ください。

E-mail : [hiroshima\\_jocv\\_obkai@yahoo.co.jp](mailto:hiroshima_jocv_obkai@yahoo.co.jp)

または、左下のQRコードから、OB会HPのページ内からも入会可能です。広島県出身の方であれば、派遣中の隊員の方も、参加OKです。ぜひこの広島の地で、

途上国での貴重な経験を、現在のそれぞれの場で活かしていくことを目的に、広島県OB会に入会して、活動してみませんか。

**【昨年度の会報の誤記のお詫び】** 昨年度の会報誌第36号にて、「チョコレートから見るセカイ フェアトレードって?！」の中里春菜様の記事の説明と写真の位置のずれ、及び語の空欄が空いた箇所がありました。また、「協力隊創設50周年イベント in 広島」の記事において、執筆者竹内様のお名前が竹内英祐となっていました。正しくは竹内英祐様（現会長）です。寄稿いただいた記事を正しく表記できなかったこと、またお名前が途切れたまま印刷に入ってしまったこと、深くお詫びいたします。一年間、ずっとお詫びしたい気持ちで一杯でした。誠に申し訳ございませんでした。

**【隊員アンケートについて】** OB会予算削減の関係上、隊員アンケートの掲載ができないとの指示で、平成27年度3次隊のアンケートは、存在しません。しかし、その次の隊から平成28年度2次隊までの隊員アンケートは、またとてください、存在しています。ただ、予算の目途がたっていないままに、アンケートの廃止も、アンケートの復活も、それぞれ別々の善意の指示で動いてしまっている状況です。一隊次のみ掲載なしで、隊員アンケート掲載には踏み切れませんでした。出発前にアンケートをとっていない隊次、またとらせていたいた隊次双方に、申し訳ない結果となりました。今後、執行部きちんと話し合っていただき、各人の善意が互いに明らかとなり、可能であれば隊員アンケートが復活されることを編集担当としては、切に望みます。

**【編集後記】** 二年間、会報誌を担当させていただきました、祝迫直子です。今年度の会報では、前年度の会報誌や、隊員アンケートのことなど、お詫びするべきことが多々ありました。力不足で、本当に申し訳ございませんでした。この第37号の会報誌の編集をもって、私の編集担当は終了となります。会報誌の編集で学んだことは、寄稿くださる方の善意を直接肌で実感できるとともに、相談を重ねるうちに、親しさが増すことです。とてもやりがいがありました。今後継続していく会報誌に期待して、編集を終わらせていただきます。準備期間が短かったにも関わらず、寄稿・編集にご協力くださった現役隊員の方、OBの方々、お忙しい中、本当にありがとうございました。

青年海外協力隊 広島県OB会 連絡先

会長 竹内 英祐 (20-4 ウガンダ 土木)

事務局長 細川 光宣 (8-2 パプアニューギニア 木工)

会報誌担当 祝迫 直子 (20-1 インドネシア 青少年活動)